

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU

(証券コード：7202)

第109期 中間報告書

第2四半期累計期間

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)



株主の皆様におかれましては、 ますますご清栄のことと およろこび申し上げます。

当社第109期「中間報告書」（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）をお届けするに当たり、皆様にご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、各国の政策効果などを背景として、緩やかに回復してまいりました。

このような中、当社グループは販売の強化とコスト体質の改善に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の国内車両販売台数につきましては、エコカー減税やエコカー補助金などによる需要喚起に対し、基準適合車を積極的に展開したことなどにより、前年同期に比べ6,469台（34.7%）増加の25,106台となりました。海外車両販売台数につきましては、流通在庫の調整が一巡したこと、アジア・中国を中心とした新興国・資源国市場の回復により、前年同期に比べ87,877台（96.5%）増加の178,905台となりました。

この結果、国内と海外を合わせた総販売台数は前年同期に比べ94,346台（86.0%）増加し、204,011台となりました。

その他の商品の売上高につきましては、海外生産用部品は、新興国・資源国向けの輸出が回復し、前年同期に比べ219億円（108.1%）増加の422億円となりました。また、エンジン・コンポーネントでは、中国における建設機械需要の増加により、産業用エンジンの売上げが好調だったことから、前年同期に比べ451億円（92.2%）増加の941億円となりました。

これらの結果、売上高につきましては、7,248億円と前年同期に比べ2,820億円（63.7%）増加いたしました。内訳は、国内が2,550億円（前年同期比35.8%増）、海外が4,698億円（前年同



取締役会長

井田 義則



代表取締役社長

細井 行

期比84.2%増）となりました。

損益につきましては、売上高が回復したこと、引き続きコスト体質の改善を進めたことから、営業利益は467億円（前年同期は200億円の損失）、経常利益は476億円（前年同期は235億円の損失）となりました。また、四半期純利益は291億円（前年同期は277億円の損失）となりました。

■連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて300億円増加の1兆1,404億円となりました。現金及び預金が456億円増加した一方で、受取手形及び売掛金が89億円減少した他、有形固定資産が49億円減少しております。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べて143億円増加し、3,689億円となりました。これは、四半期純利益291億円を計上した一方で、配当により利益剰余金が50億円減少したことや、為替換算調整勘定が87億円減少したことによります。

自己資本比率は27.4%（前連結会計年度末26.8%）となりました。

有利子負債につきましては、前連結会計年度末に比べて143億円減少の3,006億円となりました。

■通期連結業績見通し

平成23年3月期通期連結業績見通し（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）につきましては、コスト改善効果など

により、平成22年8月4日に公表した業績予想を上方修正いたしました。売上高は1兆4,300億円、営業利益は800億円、経常利益は800億円、当期純利益は520億円としております。

海外市場は回復基調が続くものと想定されますが、国内市場は出荷台数が減少する見通しです。また、原材料の高騰、急速な円高の進行など、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものと認識しております。引き続き効率化の追求によるコスト体質の改善を進めながら、販売拡大により収益の積み上げを目指してまいります。

第109期通期連結業績予想 (単位: 億円)

	第109期 見通し	第108期 実績	増減	前回見通し からの増減
売上高	14,300	10,809	+3,490	△200
営業利益	800	110	+689	+150
経常利益	800	113	+686	+150
当期純利益	520	84	+435	+120

(注) △は損失を示しております。

※ 通期連結業績見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が合理的と判断した見通しであり、世界経済の情勢や市場の動向、為替相場の変動などリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績はこれら見通しと大きく異なる場合がありますので、この通期見通しに全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えるようお願いいたします。

■利益処分に関する基本方針と当期の配当

当社は、株主の皆様への配当の実施は、会社経営の重要施策であるとの認識に立ち、株主様への安定的・継続的な利益還元と、経営基盤の強化ならびに将来への事業展開に備えるための内部留保の充実等のバランスを総合的に勘案し、決定しております。

当期の配当金につきましては、中間配当金につきましては1株当たり2円とさせていただきます。また、期末の配当金につきましては1株当たり2円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 文中においては、億円単位の金額につきましては億円未満を切り捨てて記載しております。
また%の表示は小数点第2位を四捨五入して記載しております。

■新商品・トピックス

ポスト新長期排出ガス規制に適合させた 大型トラック『ギガ』と中型トラック『フォワード』を発売

当社は、大型トラック「ギガ」と中型トラック「フォワード」の一部車型を改良し、平成21・22年排出ガス規制(ポスト新長期規制)に適合させ、5月17日より全国一斉に発売を開始いたしました。

今回発売された「ギガ」と「フォワード」の投入に当たり、当社は、開発コンセプトである「See Technology(シー・テクノロジー)」に基づき、安全技術(Safety)、経済技術(Economy)、環境技術(Environment)の3つの基本性能を柱に、世界で最も厳しい水準の平成21・22年排出ガス規制に対応すると同時に、特に燃費向上と軽量化を徹底して追及した開発を進め、燃費・積載性能、環境性能の向上を高い次元で両立させ、商用車に求められるニーズの実現を図りました。

今回の改良により、「ギガ」「フォワード」ともに平成27年度燃費基準達成車を大幅に拡大し、基準達成車比率を、「ギガ」で99%、「フォワード」で80%(平成21年度販売実績より試算(当社調べ))まで高めました。



中間連結財務諸表（第2四半期会計期間末）

■ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結会計期間末	前連結会計年度末に係る
	(平成22年9月30日)	要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産	529,480	487,715
現金及び預金	201,465	155,820
受取手形及び売掛金	179,204	188,108
商品及び製品	64,205	67,561
仕掛品	7,557	7,437
原材料及び貯蔵品	37,493	31,439
繰延税金資産	18,081	18,285
その他	22,524	20,230
貸倒引当金	△ 1,051	△ 1,166
固定資産	610,927	622,668
有形固定資産	492,728	497,726
建物及び構築物（純額）	108,660	110,425
機械装置及び運搬具（純額）	84,974	86,335
土地	269,471	269,558
リース資産（純額）	7,739	6,996
建設仮勘定	13,455	15,268
その他（純額）	8,425	9,142
無形固定資産	7,601	8,532
その他	7,601	8,532
投資その他の資産	110,598	116,408
投資有価証券	83,092	87,386
長期貸付金	3,699	4,149
繰延税金資産	10,024	9,637
その他	19,332	23,434
貸倒引当金	△ 5,549	△ 8,198
資産合計	1,140,408	1,110,383

科 目	当第2四半期連結会計期間末	前連結会計年度末に係る
	(平成22年9月30日)	要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債	402,671	401,913
支払手形及び買掛金	263,171	237,361
短期借入金	61,574	67,355
1年内償還予定の社債	—	20,000
リース債務	2,649	2,494
未払法人税等	6,854	6,406
未払費用	36,570	33,705
賞与引当金	11,949	11,778
製品保証引当金	2,264	2,483
預り金	3,461	4,288
その他	14,174	16,040
固定負債	368,817	353,935
社債	23,000	23,000
長期借入金	207,573	197,138
リース債務	5,817	5,026
繰延税金負債	3,952	3,337
再評価に係る繰延税金負債	55,768	55,818
退職給付引当金	62,812	61,367
長期預り金	1,341	1,252
負ののれん	318	373
その他	8,235	6,620
負債合計	771,489	755,849
純資産の部		
株主資本	268,262	244,136
資本金	40,644	40,644
資本剰余金	50,427	50,427
利益剰余金	177,800	153,663
自己株式	△ 610	△ 599
評価・換算差額等	44,303	53,456
その他有価証券評価差額金	2,785	3,327
繰延ヘッジ損益	△ 23	△ 151
土地再評価差額金	73,316	73,340
為替換算調整勘定	△ 31,775	△ 23,059
少数株主持分	56,352	56,941
純資産合計	368,918	354,534
負債純資産合計	1,140,408	1,110,383

(注) 金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

中間連結財務諸表（第2四半期累計期間）

■ 四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
	(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	724,879	442,848
売上原価	623,336	407,209
売上総利益	101,543	35,638
販売費及び一般管理費	54,788	55,655
営業利益又は営業損失(△)	46,754	△ 20,017
営業外収益	6,298	1,579
営業外費用	5,396	5,143
経常利益又は経常損失(△)	47,656	△ 23,580
特別利益	1,096	432
特別損失	5,049	1,594
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	43,703	△ 24,742
法人税等	10,343	2,307
少数株主損益調整前四半期純利益	33,359	—
少数株主利益	4,160	717
四半期純利益又は四半期純損失(△)	29,198	△ 27,768

（注）金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

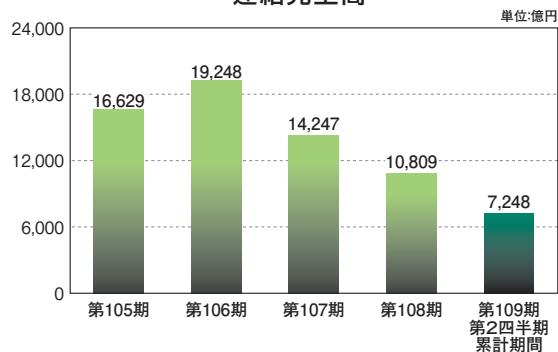
（単位：百万円）

科 目	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
	(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	89,119	14,236
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,379	△ 23,815
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 23,359	32,831
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 3,947	△ 627
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	48,432	22,625
現金及び現金同等物の期首残高	156,198	116,198
現金及び現金同等物の四半期末残高	204,631	138,823

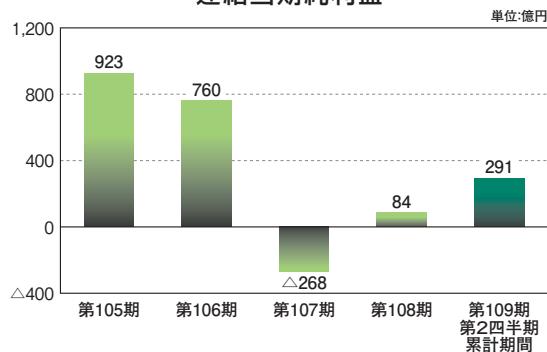
（注）金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

財務ハイライト

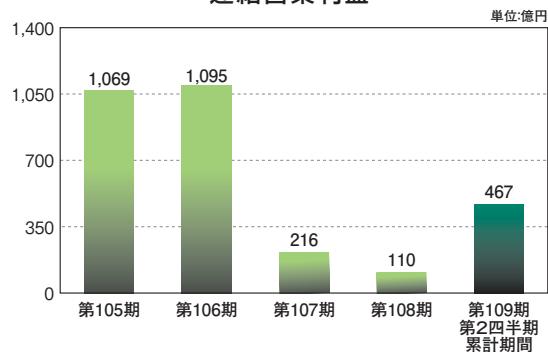
連結売上高



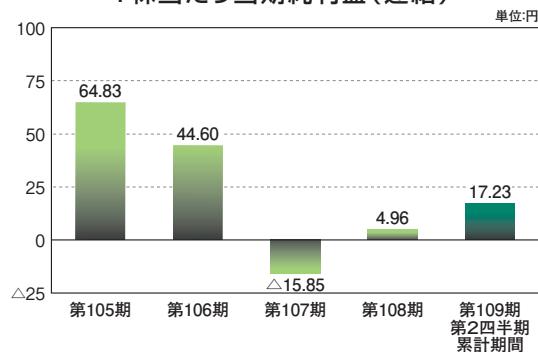
連結当期純利益



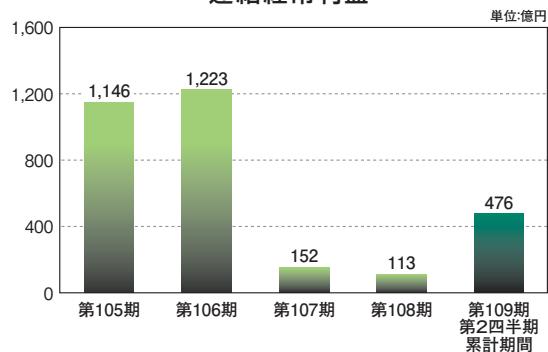
連結営業利益



1株当たり当期純利益(連結)



連結経常利益



国内販売台数・海外販売台数(連結)



株式の状況 (平成22年9月30日現在)

発行可能株式総数…………… **3,369,000,000**株
 発行済株式総数…………… **1,696,845,339**株
 株主数…………… **76,732**名

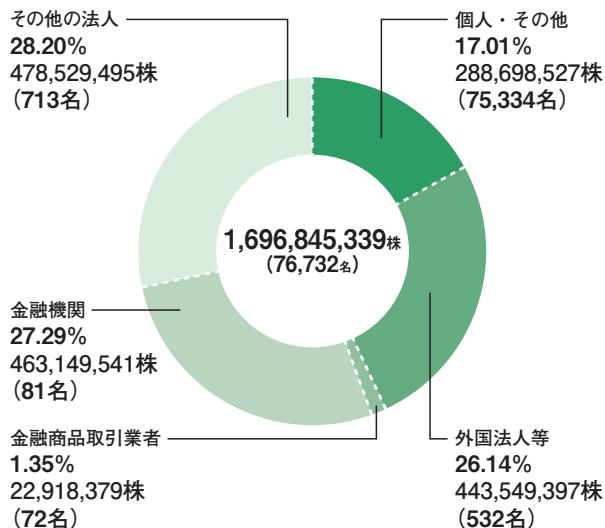
(注) 当社第109期第2四半期累計期間中の発行済株式総数の増減はありません。

大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱商事株式会社	156,487	9.23
伊藤忠商事株式会社	135,098	7.97
トヨタ自動車株式会社	100,000	5.90
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	87,217	5.15
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	77,289	4.56
株式会社みずほコーポレート銀行	31,931	1.88
株式会社日本政策投資銀行	26,366	1.56
三菱UFJ信託銀行株式会社	23,527	1.39
サジャツプ	22,127	1.31
野村信託銀行株式会社 (投信口)	19,438	1.15

(注) 1. 持株比率は自己株式 (1,914,656株) を控除して計算しております。
 2. 千株未満は、切り捨てて表示しております。

所有者別株式分布状況



(注) 1. %は小数点以下第三位を四捨五入しております。
 2. 自己株式、政府・地方公共団体は個人・その他に含めております。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

公告方法 当社ホームページに掲載します。(URL (アドレス) は以下のとおりです)
<http://www.isuzu.co.jp/investor/notification.html>
ただし事故その他やむをえない事情によりホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人
特別口座の
口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

郵便物送付先
ご連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話0120-232-711 (通話料無料)

【お知らせ】

1. ご注意

- (1) 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

2. 株主様のご住所およびお名前のご登録について

株主様のご住所およびお名前の文字に、振替機関（証券保管振替機構）で指定されていない漢字等が含まれている場合には、その全部または一部を振替機関が指定した文字に置き換えのうえ、株主名簿にご登録いたします。この場合、株主様にお送りする通知物の宛名は、振替機関が指定した文字となりますのでご了承ください。

いすゞ自動車株式会社

<http://www.isuzu.co.jp>

〒140-8722 東京都品川区南大井六丁目26番1号 電話03-5471-1141